

サステナビリティ教育研究センター 活動報告

1. タイトル

2022年度 けやき循環プロジェクト 落ち葉集め

2. 活動日時・参加人数

全4回

活動日	参加人数(申込み人数)
2022年11月22日(火)	大学生 23名、教職員 11名 小学校5年生・6年生(2クラス) 185名 <u>計 219名</u>
2022年11月25日(金)	大学生 23名、教職員 10名 小学校4年生 122名 <u>計 155名</u>
2022年12月6日(火)	大学生 20名、教職員 15名 小学校6年生(2クラス) 63名 <u>計 98名</u>
2022年12月9日(金)	大学生 16名、教職員 10名 小学校3年生・6年生(2クラス) 174名 <u>計 200名</u>

3. 場所

ケヤキ並木・小学校松林

4. 活動内容

成蹊小学校の児童が焼き芋大会用に落ち葉を集めるタイミングに合わせ、大学生・教職員の落ち葉集めの日程を決定し、参加者を募った。今年度も学生支援事務室の協力で、体育会のラグビー部、サッカー部、水泳部、ラクロス部、別のイベントでも小学校と交流の機会があったチアリーディング部、ダブルエイトなどから多くの学生が参加した。ケヤキ並木をエリアごとに混合グループ(小学生・大学生・教職員)に分け、竹ぼうき・軍手・塵取りを使い、30分間で落ち葉を回収した。集めた落ち葉は小学校に運び、焼き芋大会に使用した。参加した教職員と学生には小学校の焼き芋大会で作った焼き芋を配った。なお、各回の最初にけやき循環プロジェクトの概要を参加者に説明した。

5. 成果と課題

<成果>

- ・参加者へケヤキ並木が抱えている課題(大量の落ち葉、高木化等)の共有とけやき循環プロジェクトの周知ができた。
- ・落ち葉集めは対象エリアが広く、落ち葉も大量にあるため切りのない作業になるが、作業終了後にはほどよく汗をかき、達成感や一緒に活動した者同士の連帯感が感じられる。また、通りがかりの

方がお礼を言ってくださるなど、近隣住民との交流があった。

・小学生、大学生、教職員が一緒に協力して行うことのできる貴重なイベントであること。特に今年度は昨年度に引き続き多くの学生が参加し、小学生と仲良く交流できたのは、お互いにとって普段にはない良い経験となった。

・今年度も SDGsに積極的に取り組む、スターバックスコーヒーから4名の参加があった。学外の方との交流をさらに広げて、多くの方にけやき循環プロジェクトを知ってもらいたい。

<課題>

・公募で参加する大学生が少数のため、より多くの人にけやき循環プロジェクトを知ってもらえるような取り組みがさらに必要である。

・今年度は、中学からも合同で落ち葉集めの開催を希望されるも、小学生との時間調整が難しく、小規模で大学生と合同で実施した。来年度以降、けやき循環プロジェクトを通じて、多くの関係者が協力して実施できる体制を構築する必要がある。

・今年度はコロナウイルス感染症の拡大に伴い、地域清掃活動が中止となり、同活動との共催とはならなかったが、将来的には地域の方と学生の交流機会が増えるようなイベントを企画していきたい。

写真 ケヤキ並木で大学生と小学生と一緒に落ち葉集めをしている様子

